

【ポスター発表】

地域における見守り活動の阻害・促進要因に関する探索的研究

—専門職を対象としたインタビュー調査をもとに—

○ 吉備国際大学 黒宮 亜希子 (会員番号 004958)

キーワード：見守り活動，中山間地域，促進・阻害要因

1. 研究目的

本研究の目的は、急速に人口減少と高齢化が進む中山間地域における、「(地域内の住民)見守り活動」の阻害要因及び促進要因について実証的に解明することである。中山間地域では近年人口の高齢化が急速に進んでおり、また一人暮らしの高齢者の割合も非常に高い。そのため、日常圏域で取り組む、住民の「見守り活動」の必要性は日々高まっている。しかし現実には、専門職を中心として地域ケア会議などを開催し、見守り活動を住民に促しても、活動が続かないなどが課題となっている。そのため本研究は、地域で行われる「見守り活動」の阻害要因及び促進要因を定性的なアプローチから検証し、最終的には「見守り活動」の操作概念化作業を行うことまでを目的とする。

2. 研究の視点および方法

本研究の視点は、地域内で展開されている「見守り活動」の阻害要因・促進要因の抽出を行うことにある。ここでは専門職4名を対象としたインタビュー調査を実施した(半構造化面接法)。専門職を調査対象とした調査により、「見守り活動」その阻害要因と、促進要因の探索を行うことで、見守り活動そのものの概念化作業を行うことを射程とする。さらに、その結果を詳細に分析・考察することで、福祉専門職が、住民が中心となって行う見守り活動に対してどのような側面的な支援・アプローチが可能か議論することも可能となると考えた。

調査対象地域は、岡山県X市、人口は現在約3万3千人である。X市の高齢化率は現在約35%であり、高齢化率としては比較的高い割合を示している。X市内でも、地区単位で見ると住民の高齢化率が60%以上ということも現実には珍しくない。調査対象者は、X市町村社会福祉協議会職員2名、X市地域包括支援センター職員2名である。調査実施日は、2013年12月および2014年3月である(所用時間は70~90分)。調査項目は大きく3つからなる。①市内(地区)の見守り活動の実態、②X市内における見守り活動のうち、活動が機能していると思われるのはどのような場合か(促進要因)、反対に、③見守り活動がうまくいかない、継続がしにくい(阻害要因)のはどのような場合かであるかである。なお、調査によって得られた言語データは、全てボイスレコーダによる録音記録を行った。

3. 倫理的配慮

調査対象者には、学術目的として本調査を実施すること、回答について個人の特定はなされないことについて説明を行い、研究成果の公表に際しても承諾を得た。

4. 研究結果

具体的に「見守り（活動）」とはどのようなものだと思うか、インタビュー中に X 市社会福祉協議会の職員 A 氏は次のように語った。

「例えば、一人暮らしのあの家、電気がついてるなどか、あそこが今日も（電気）ついてるなどという見守りは、日ごろから自分たちが気を付ければできるところなんですけど、見守りの部分になると……ちょっと違うような気がするのかな。（見るんだけど見守りのレベルにいけるかいけないか）、そこから先にいくのがたぶん見守りっていうか・・・」（社会福祉協議会職員 A 氏）

次に、見守り活動が地域内で成立するのはどのような要因（促進要因を意味する）だと思うかについて訪ねたところ、次のような語りが得られた。

「(地域内で見守りする人の)数もだし、重層的にというか、やっぱり民生委員さんがある程度そういう行政との橋渡しもする、その地域の相談役としてその人を見守るとしたときに、でもやっぱり（見守り活動の）少しいエリアが広い。だからその小さいエリアに福祉員さんも見守る、隣近所の人も見守る、それから福祉委員さん、民生委員さんらが、（もう何重もそれぞれ層がある感じですね）、そう、それを見守りと思う。」（社会福祉協議会職員 B 氏）

5. 考察

見守り活動のうち、①「見守り」活動とその水準（見る・見守り）には位相が存在することが明確になった。一般的に「見守り」と一言で表現せども、その実態には「層」があり、その具体的な解明が研究上の課題として残された。次に、②見守り活動の立ち上げとその後を左右する、重層的な住民の視線や軽微な支え合いが、見守り活動の立ち上げ、またその後の活動の継続には必要不可欠であることがインタビュー調査から明らかになった。さらには、見守りが成立しやすい住民個人の特性や、地域・地区の特性らについても分析を行った。当日詳細な報告を行う。

【謝辞】本研究は、2013～2015 年度科学研究費（若手 B:課題番号 25870978）「中山間及び離島地域における小地域ネットワーク活動の継続に関する研究」によるものである。